

I 区がめざす将来像をお示しします

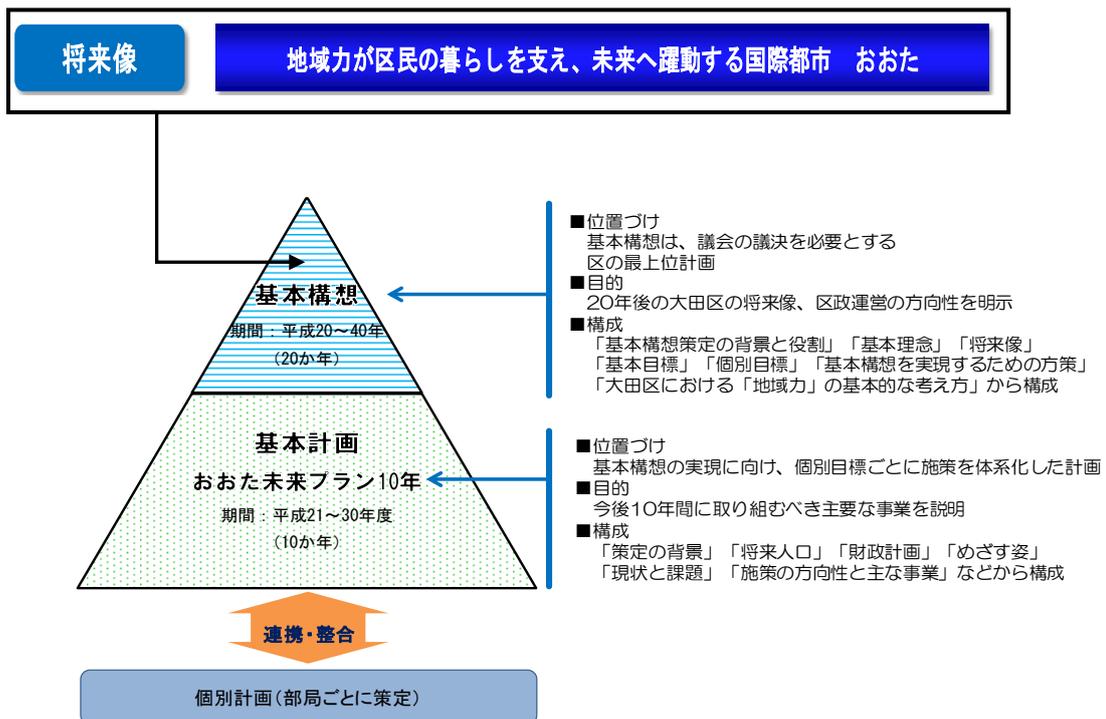
～ 基本構想・おおた未来プラン 10年 ～

基本構想は、平成20年10月に区の最上位計画として区議会で議決されました。基本構想では、20年後のあるべき姿である将来像を「地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市 おおた」とし、区が行う全ての事業は、この将来像の実現に向け実施しています。

基本構想の議決を受け、区は平成21年4月からの10か年基本計画である「おおた未来プラン10年」を策定し、さらに前期5年間の成果と課題を検証の上、平成26年度からの5か年計画「おおた未来プラン10年（後期）」（以下「未来プラン（後期）」という）を策定しました。未来プラン（後期）では、急速に変化する社会経済状況に柔軟かつ着実に対応するため、スポーツ、産業、防災の分野において新たに3つの施策を追加し、さらなる区政の推進に向けて取り組んでいます。

未来プランに掲げる主な事業は、将来像を実現するために着実に推進しなければならないものであり、区は毎年その進捗状況を公表しています。

■大田区の将来像及び行政計画の体系



■「地域力・国際都市 おおた」をめざして

基本構想及び未来プランにおいては、将来像の実現に向けて2つのキーワードを区政推進の理念としています。1つが区民一人ひとりの力を源とする「地域力」であり、複雑多様化する地域課題に区と地域が連携して取り組むことで、誰もが暮らしやすいまちづくりを目標としています。もう1つが「国際都市」です。国際空港である羽田空港を擁する立地を最大限に活かし、2020年の東京オリンピック・パラリンピックも見据えながら世界の都市と人々をつなぐことで、更なる区の賑わい創出をめざします。



■施策の達成度を測るモノサシ（指標）について

おおた未来プラン 10 年（後期）には、大田区基本構想で示している 3 つの基本目標及び 9 つの個別目標に基づく、36 の施策があります。それぞれの施策では「めざす姿」を示しており、そのめざす姿にどれだけ近づいたかを測る目安として、モノサシ（指標）を設定しています。各施策におけるモノサシ（指標）及びその最新値は以下のとおりです。

基本目標 1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち

施策	No.	モノサシ（指標）	未来プラン策定時の「現状」	未来プラン（後期）策定時（25年度）	平成27年度最新値	30年度目標値
1-1-1 安心して子どもを産めるまちをつくりまします	1	妊娠11週以内に妊娠届出をした割合（%）	86.8% （平成20年度）	91.5% （平成23年度）	92.5% （平成26年度）	100%
	2	すこやか赤ちゃん訪問事業の実施率（%）	61.5% （平成19年度） （新生児訪問事業）	95.6% （平成24年度）	95.3% （平成26年度）	100%
1-1-2 子どもを健やかに育むまちをつくりまします	3	保育所入所率（%）	96.9% （平成21.4.1） 保育サービス定員 9,553人 （平成21.4.1）	96.3% （平成25.4.1） 保育サービス定員 11,322人 （平成25.4.1）	98.8% （平成27.4.1） 保育サービス定員 12,880人 （平成27.4.1）	100%
	4	ファミリーサポート延べ利用者数（人）	10,283人 （平成19年度）	10,819人 （平成24年度）	11,849人 （平成26年度）	12,200人
	5	子育て環境に対する満足度（%）	—	43% （平成25年度）	27年度未調査	50%
1-1-3 未来を担う子どもたちを育てます	6	大田区学習効果測定【中3数学・期待正答率を超えた生徒の割合】（%）	58.3% （平成20年度）	60.6% （平成25年度）	58.6% （平成27年度）	62.0%
	7	不登校生徒出現率【中学校】（%）	3.73% （平成19年度）	3.05% （平成24年度）	3.56% （平成26年度）	2.88%
	8	体力合計点【小6男女】（点）	男子60.62点 女子60.30点 （参考：平成23年度）	男子60.21点 女子60.15点 （平成25年度）	男子59.57点 女子60.47点 （平成27年度）	男子61.01点 女子61.59点
1-1-4 のびのびと成長する子どもを見守ります	9	児童館等ファミリールーム利用者数（人）	431,000人 （平成19年度）	455,569人 （平成24年度）	510,916人 （平成26年度）	463,000人
	10	子ども家庭支援センターの相談件数（件）	4,290件 （平成20年度）	4,628件 （平成24年度）	8,089件 （平成26年度）	4,900件
1-2-1 誰もが健康に暮らせるまちをつくりまします	11	65歳健康寿命（歳）	男性 81.72歳 女性 84.84歳 （平成20年）	男性 81.68歳 女性 85.04歳 （平成23年）	男性 81.84歳 女性 85.21歳 （平成25年）	男性 82.26歳 女性 85.36歳
	12	特定健診受診率（%）	30% （平成20年度）	37% （平成24年度）	37% （平成26年度）	44%
1-2-2 ユニバーサルデザインのまちづくりを進めます	13	「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っている、または聞いたことがあると答えた区民の割合（%）	—	76.6% （平成24年度）	73% （平成27年度）	80%
	14	だれでもトイレの設置割合（%）	64.9% （平成20年度）	82.4% （平成25年度）	82.7% （平成27年度）	95.9%

施策	No.	モノサシ（指標）	未来プラン策定時の「現状」	未来プラン（後期）策定時（25年度）	平成27年度最新値	30年度目標値
1-2-3 障がい者が地域で安心して暮らせるまちをつくりま	15	障害福祉サービス等利用者の満足度（%）	60% （平成20年度）	58% （平成25年度）	27年度未調査	75%
	16	就労支援ネットワークからの年間就職者数（人）	50人 （平成20年度）	54人 （平成24年度）	47人 （平成26年度）	90人
1-2-4 生きがいと誇りをもって暮らせるまちをつくりま	17	区民1人あたりの図書館の貸出冊数（冊）	6.4点 （平成20年度）	8.0点 （平成24年度）	8.1点 （平成26年度）	10.4点
1-2-5 スポーツ健康都市宣言にふさわしい、スポーツを通じて健康で豊かに暮らせるまちをつくりま	18	週1回以上スポーツ活動をしている区民の割合（%）	36.6% （平成20年度）	41.2% （平成25年度）	44.5% （平成27年度）	65%
1-2-6 安定した暮らしと人権を守ります	19	職場における男女の地位が平等であると答えた区民の割合（%）	男性16.7% 女性10.0% （平成16年度）	男性25.2% 女性16.9% （平成24年度）	男性34.3% 女性25.5% （平成27年度）	男性32% 女性22%
1-3-1 高齢者がいきいきと暮らせるまちをつくりま	20	ボランティアなど地域や地域の人を支える活動に参加している高齢者の割合（%）	12.2% （平成20年度）	10.3% （平成24年度）	27年度未調査	15%
	21	何らかの収入を得る仕事をしている高齢者の割合（%）	39.1% （平成20年度）	39.1% （平成24年度）	27年度未調査	45%
	22	要介護認定を受けていない高齢者（65歳以上75歳未満）の割合（%）	95.79% （平成20年度）	95.35% （平成24年度）	94.96% （平成26年度）	95.70%
1-3-2 高齢者が地域で包括的なケアを受け、安心して暮らせるまちをつくりま	23	居宅サービス利用者のうちケアプランに満足している人の割合（%）	65.9% （平成19年度）	70.0% （平成25年度）	27年度未調査	75%
	24	介護保険施設等の入所定員数（人）	2,160人 （平成21.4.1）	2,646人 （平成26.2.1）	2,685人 （平成27.4.1）	3,300人
	25	さわやかサポート（地域包括支援センター）を知っている区民の割合（%）	19.1% （平成20年度）	29.1% （平成24年度）	31.0% （平成27年度）	40%
1-3-3 いざというときに高齢者を支える体制をつくりま	26	成年後見制度を知っている区民の割合（%）	—	27.4% （平成24年度）	27年度未調査	36%
	27	災害時要援護者である高齢者を支援する組織が設置されている自治会・町会の割合（%）	39% （平成20年度）	44% （平成25年度）	46% （平成26年度）	50%

まち
基本目標2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

施策	No.	モノサシ（指標）	未来プラン策定時の「現状」	未来プラン（後期）策定時（25年度）	平成27年度最新値	30年度目標値
2-1-1 魅力と個性あふれる都市をつくりま	28	住んでいるまちが魅力的であると感じる区民の割合（%）	—	58.5% （平成25年度）	67.6% （平成27年度）	64%
	29	区内人口の社会増減率（%）	0%	8.66% （平成25.1.1）	24.22% （平成27.1.1）	18%
2-1-2 快適な交通ネットワークをつくりま	30	区内の通勤・通学の便に満足している区民の割合（%）	76.7% （平成20年度）	75.7% （平成24年度）	74.8% （平成27年度）	80%
	31	放置自転車台数（台）	2,552台 （平成19年度）	2,436台 （平成24年度）	1,682台 （平成26年度）	2,280台

施策	No.	モノサシ（指標）	未来プラン策定時の「現状」	未来プラン（後期）策定時（25年度）	平成27年度最新値	30年度目標値
2-1-3 潤いやすらぎのあるまちをつくりまします	32	身近な場所で水や緑に親しめると思う区民の割合（％）	—	53.8% （平成24年度）	52.3% （平成27年度）	60%
	33	公園の新設、拡張整備面積累計（ha）	0ha （平成20年度）	8.16ha （平成25年度）	8.35ha （平成27年度）	13.2ha
2-1-4 安全で安心して暮らせるまちをつくりまします	34	東京都防災都市づくり推進計画の整備地域における平均不燃領域率（％）	大森中地域 52% 羽田地域 — 西蒲田地域 52% （平成16年度）	大森中地域 64% 羽田地域 45% 西蒲田地域 60% （平成22年度）	27年度未調査	大森中地域70%超 羽田地域60%超 西蒲田地域70%超
	35	大田区内の耐震化率（％）	75.6% （平成18年度）	79.2% （平成21年度）	86.0% （平成28年2月末）	90%超
	36	駅周辺のバリアフリー化が進んだと感じる区民の割合（％）	—	32.3% （平成25年度）	50.6% （平成27年度）	40%
2-2-1 世界へ羽ばたくまちをつくりまします	37	羽田空港及び空港跡地が、地域経済の発展に貢献すると感じる区民の割合（％）	—	49% （平成25年度）	27年度未調査	55%
	38	羽田空港跡地第1ゾーンの整備進捗率（％）	—	20% （平成25年度）	40% （平成26年度）	80%
2-2-2 未来につながる空港臨部をつくりまします	39	臨海部（平和島・昭和島・京浜島・東海・城南島・羽田空港）に立地する事業所数（社）	1,622社 （平成16年度） 参考数値※	2,154社 （平成23年度） 1,886社 （平成18年度） 参考数値※	27年度未調査 （経済センサス）	2,300社
	40	空港臨海部が身近になったと感じる区民の割合（％）	—	35% （平成24年度）	27年度未調査	40%
2-2-3 国際都市として交流を育みます	41	国際交流団体の登録数（団体）	30団体 （平成21年度）	45団体 （平成24年度）	59団体 （平成28年2月末）	78団体
	42	大田区の外国人延べ宿泊者数（人）	7.7万人 （平成21年度）	7.5万人 （平成24年度）	17万人 （平成26年度）	33万人
2-3-1 ものづくり産業を育み、世界に発信します	43	製造品出荷額等（億円）	7,829億円 （平成19年）	4,796億円 （平成24年）	4,110億円 （平成26年）	5,000億円
	44	新製品・新技術開発助成（実用化・製品化助成）を受けた企業のうち、展示会出展または取引につながった企業の割合（％）	—	66.6% （平成23年度） 参考数値※	82.1% （平成26年度）	100%
※助成を受けた企業からの状況報告は、助成した年度の2年後から3年間にわたり実施しています。製品化助成は23年度から実施しているため、平成26、27年度の状況報告によっては数値が変動する可能性があります。						
2-3-2 くらしを支えるあきないを熱く盛り上げます	45	区内小売業の年間商品販売額（億円）	—	5,003億円 （平成23年度）	5,831億円 （平成26年度）	5,230億円
2-3-3 ビジネスがしやすいまち大田区をつくりまします	46	大田区内の従業者数（人）	—	334,046人 （平成23年度）	359,410人 （平成26年度）	361,000人
	47	新設事業所数（累計）（事業所）	578事業所 （平成21年）	1,764事業所 （平成23年）	3,949事業所 （平成26年）	6,180事業所

施策	No.	モノサシ（指標）	未来プラン策定時の「現状」	未来プラン（後期）策定時（25年度）	平成27年度最新値	30年度目標値
2-3-4 大田区の観光を世界に発信します	48	大田観光協会ホームページの年間アクセス数（件） 上段：ページビュー数 下段：リクエスト数	49.6万件 — （平成19年度）	74万件 619.6万件 （平成24年度）	129万件 1,150万件 （平成26年度）	再設定予定 885万件
	49	区内宿泊施設の宿泊者数（人） 上段：延べ宿泊者数 下段：そのうち外国人	109.5万人 7.7万人 （平成21年度）	115.9万人 7.5万人 （平成24年度）	136万人 17万人 （平成26年度）	130万人 15万人

※本モノサシでは、これまでWebアクセスに関する統計値の内、リクエスト数のみをアクセス数として掲載していましたが、施策の成果をさらに多角的に検証する観点からページビュー数も併せて掲載します。
【リクエスト数】あるWebページにアクセスした場合に、ページ上に含まれるすべてのファイルも1件ずつカウントしたものと【ページビュー数】あるWebページにアクセスした場合に、ページ上に含まれるファイルの数によらず1件とカウントしたものと

基本目標3 地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち

施策	No.	モノサシ（指標）	未来プラン策定時の「現状」	未来プラン（後期）策定時（25年度）	平成27年度最新値	30年度目標値
3-1-1 地域力の土台づくりを進めます	50	「自治会・町会の会合など地域活動に参加したことがある」と答えた区民の割合（％）	—	72.3% （平成24年度）	76.7% （平成27年度）	75%
	51	大田区民活動情報サイト登録数（団体）	535団体 （平成19年度） 参考数値※	426団体 （平成24年度）	551団体 （平成28年1月末）	590団体
	52	大田区民活動情報サイトへのアクセス件数（件）	—	24,389件 （平成24年度）	31,629件 （平成28年1月末）	36,580件
3-1-2 地域力を活かした取り組みを進めます	53	自治会・町会や団体・NPOが、区の取り組みにより他の団体等と連携して実施した事業数（事業）	—	93事業 （平成24年度）	117事業 （平成28年1月末）	150事業
	54	自治会・町会への加入率（％）	75.4% （平成20年度）	74.6% （平成25年度）	72.1% （平成27年度）	76%
3-1-3 誰もが暮らしやすい地域をつくります	55	ボランティア活動に参加している区民の割合（％）	8.9% （平成18年度）	9.1% （平成24年度）	14.9% （平成26年度）	10%
	56	現在住んでいるまちが「暮らしやすいと感じている」と回答した区民の割合（％）	76.8% （平成19年度）	81.9% （平成25年度）	77.2% （平成27年度）	87%
3-1-4 地域文化の創造とふれあいづくりを進めます	57	大田区の主な文化関連施設の利用・入館者数（延べ、万人）	144万人 （平成19年度）	162万人 （平成24年度）	166万人 （平成26年度）	174万人
	58	大田区文化祭、文化センターまつり、区民ギャラリーに出場・出品した人数（延べ、人）	3,203人 （平成20年度）	12,657人 （平成25年10月）	14,358人 （平成27年度）	13,600人
3-1-5 地域力を活かし、災害に強いまちづくりを進めます	59	防災市民組織が設置されている自治会・町会の割合（％）	97.6% （平成20年度）	98.6% （平成25年度）	99% （平成27年度）	100%
	60	学校防災活動拠点校整備数（校）	—	20校 （平成25年度）	78校 （平成27年度）	91校
3-1-6 地域力を活かし、防犯に強いまちづくりを進めます	61	地域安全・安心パトロール助成団体数（団体）	226団体 （平成20年度）	270団体 （平成25年度）	281団体 （平成28年1月末）	315団体
	62	街頭防犯カメラ整備数（地区、台）	—	13地区 190台 （平成24年度）	23地区 366台 （平成26年度）	30地区 600台
	63	区民安全安心メール登録者数（人）	30,499人 （平成21年度）	50,018人 （平成25年度）	54,715人 （平成26年度）	60,000人

※参考数値は、大田区民活動情報サイトを開設する前の大田区民活動情報サイトデータベース登録数（団体）です。
※平成18、26年度は世論調査、24年度は大田区地域福祉計画実態調査によるものです。また、ボランティア活動の定義が福祉活動に留まらないことを設問中に明記したものは平成24年度調査からとなります。

施策	No.	モノサシ（指標）	未来プラン策定時の「現状」	未来プラン（後期）策定時（25年度）	平成27年度最新値	30年度目標値
3-2-1 地球環境をみんな で守り未来へ 引き継ぎます	64	大田区の二酸化炭素排出量（千t/年） 〔基準年・平成2年度2,869千t/年〕	3,172千t/年 （平成20年度） 〔平成2年度比 +10.6%〕	2,935千t/年 （平成22年度） 〔平成2年度比 +2.3%〕	3,334千t/年 （平成24年度） 〔平成2年度比 +16.2%〕	2,322千t/年 〔平成2年度比 -19.1%〕
	65	大田区のエネルギー消費量（TJ/年） 〔基準年・平成2年度37,208TJ/年〕	37,506TJ/年 （平成20年度） 〔平成2年度比+0.8%〕	36,060TJ/年 （平成22年度） 〔平成2年度比 -3.1%〕	34,173TJ/年 （平成24年度） 〔平成2年度比 -8.2%〕	31,799TJ/年 〔平成2年度比 -14.5%〕
	66	太陽光発電設置実績件数（件）	249件 （平成6～16年度）	1,837件 （平成24年度）	2,492件 （平成26年度）	3,000件
3-2-2 水と緑を感じるま ちをつくります	67	「緑の多さに満足している」と答えた区民の割合（%）	54.4% （平成20年度）	57.5% （平成24年度）	58.7% （平成27年度）	63%
	68	緑被率（%）	20.3% （平成9年度）	20.47% （平成21年度）	27年度未調査	20.9%
	69	呑川のBOD（生物化学的酸素要求量） （mg/L）	島畑橋 1.1mg/L 谷築橋 1.3mg/L 旭橋 1.3mg/L （平成20年度）	島畑橋 1.2mg/L 谷築橋 1.5mg/L 旭橋 2.7mg/L （平成24年度）	島畑橋 0.9mg/L 谷築橋 1.3mg/L 旭橋 1.7mg/L （平成26年度）	環境基準 8mg/L以下
3-2-3 ごみのない循環 のまちをつくります	70	区収集ごみ量（千t）〔清掃事業が区に移管された平成12年度を基準年度：174,748t〕	15万4千t （平成19年度）	14万t （平成24年度）	13.5万t （平成26年度）	12万2千t 〔平成12年度比 -30%〕
	71	リサイクル率（%）	18.5% （平成19年度）	19.5% （平成24年度）	20.8% （平成26年度）	30%
3-3-1 行政力を最大限 に発揮できる体 制をつくります	72	基本計画で設定したモノサシ（指標）の目標に到達した割合（%）	—	36% （51%） （平成25年度） 参考数値※	18% （平成27年度）	100%
	※参考数値は前期未来プランに設定されていたモノサシ（指標）を用いた数値であり、項目内容、対象数ともに異なる条件のもと算出しています。 なお、（ ）内は、平成25年度の目標値と、未来プラン策定時の「現状」を比較し、最新値が8割を達成しているモノサシ指標の割合です。					
	73	経常収支比率（%）	75% （平成20年度）	85.8% （平成24年度）	82.2% （平成26年度）	80%台
3-3-2 透明性が高く、 区民の多様な意 見を活かす区役 所をつくります	74	「区政情報が適切に公開されている」と答えた区民の割合（%）	—	29% （平成24年度）	32.4% （平成27年度）	46%
3-3-3 地域力を支える 区役所をつくり ます	75	地域活動にインターネットを利用している自治会・町会の割合（%）	—	30.9% （平成25年12月）	18.8% （平成27年度）	50%
	76	地域力推進委員会分科会の開催回数（回）	55回 （参考：平成23年度）	78回 （平成24年度）	62回 （平成26年度）	125回